

出力機器(マルチベンダー)管理を基盤とした
トータルログ管理サーバー

Ridoc IO OperationServer Pro

RICOH
imagine. change.

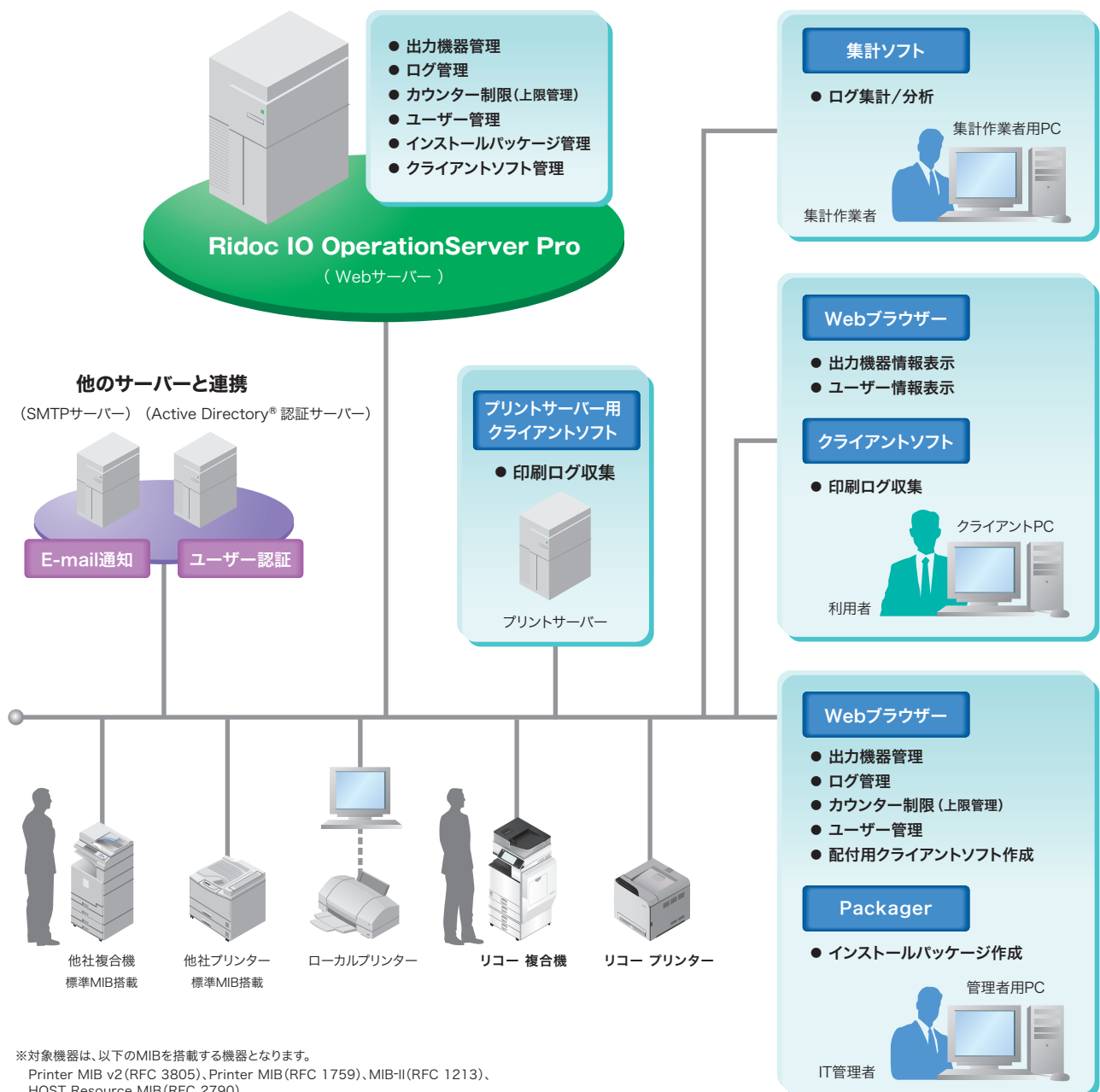


IT 管理部門、総務部門のみなさまへ。 マルチベンダー対応で、出力機器に関する悩みを解決し IT 管理業務の効率化、TCO 削減をサポートします。

「Ridoc IO OperationServer Pro」は、出力機器の管理を基盤とした、トータルログ管理サーバー。
IT 化オフィスで増え続ける機器の一元管理、多彩なログ収集・集計による TCO 削減とセキュリティ対策などを
同時に実現します。あなたの考える快適な管理・集計業務をイメージしてみてください。

リコーなら、理想的なシステムが 1 パッケージでご提案できます。

Ridoc IO OperationServer Pro のシステム構成図



※対象機器は、以下のMIBを搭載する機器となります。
Printer MIB v2(RFC 3805)、Printer MIB(RFC 1759)、MIB-II(RFC 1213)、
HOST Resource MIB(RFC 2790)

機器の利用状況の把握

『コピーやプリンターでの出力経費が増えている』

『紙文書の出力状況が、把握できない』



各種ログの収集と集計・分析ができる

- さまざまなログ(ジョブログ、アクセスログ、クライアントログ、ユーザー別カウンターログ)を収集可能



さまざまなログを収集し、データベースで適切に管理。 目的に応じて、閲覧ができます。

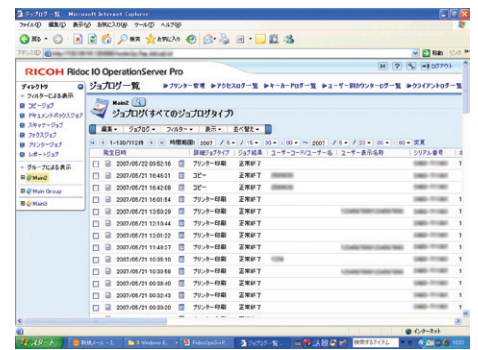
■ さまざまな種類のログを収集可能

「Ridoc IO OperationServer Pro」で管理する出力機器、クライアントソフトをインストールしているパソコンからログの収集が可能。各ログは、データベースで管理できるため、管理者の意図によって保管期限などを設定できます。

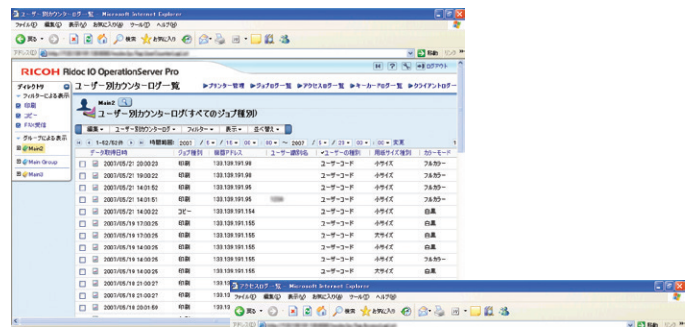
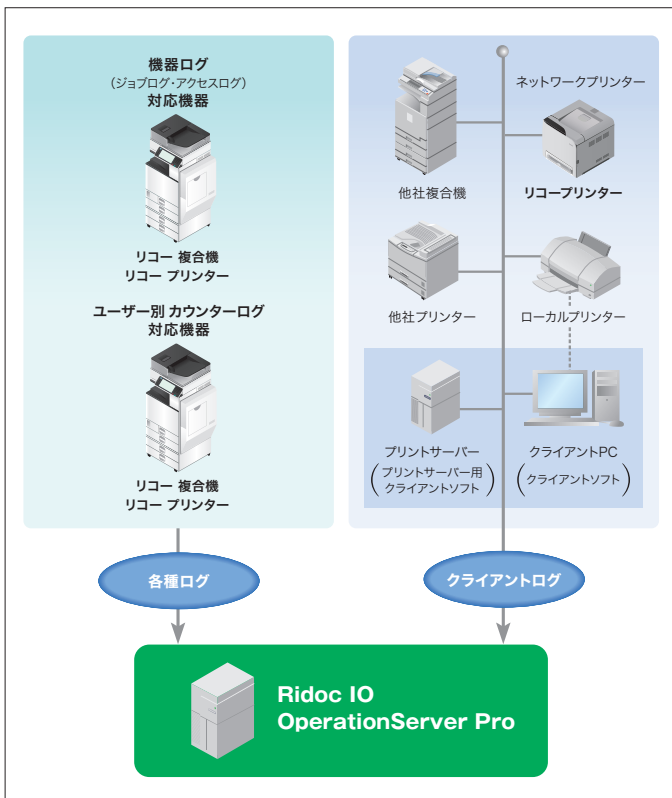
- **ジョブログ***：ユーザーが機器を操作した結果(印刷、コピー、スキャニング、ファクス送信)を記録。
* 対応機種については、販売担当者にご確認ください。
- **アクセスログ***：機器へのログイン・ログアウト、設定などを行なった場合のアクセス記録。
* 対応機種については、販売担当者にご確認ください。
- **クライアントログ***：クライアントソフトをインストールしたパソコンで印刷操作した結果を記録。スプーラーログ、プリンタードライバログ、Ridoc IO Naviのログが対象。
* 対応機種：Ridoc IO OperationServer Pro管理対象機種
- **ユーザー別カウンターログ***：機器からユーザーごとのカウンター値(印刷、コピー、ファクス受信)を取得し、収集ごとの差分値を記録。
* 対応機種については、販売担当者にご確認ください。
* ユーザー別カウンターログを収集できる機器は2,000台まで。
* ユーザーコード別カウンターは課金カウンターと比較して最も差異の少ないものになります。
* カウンター請求に使われる、課金トータルカウンターとは一致しない場合があります。

■ ログの一覧表示

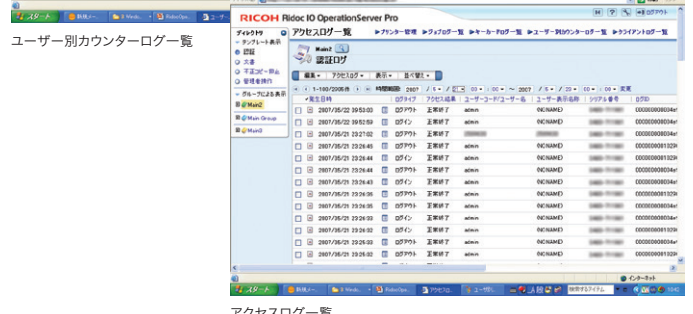
ログの種類(ジョブログ、アクセスログ、ユーザー別カウンターログ、クライアントログ)ごとにログ内容を一覧表示できます。そして、「フィルター」「表示」「並べ替え」メニューや「検索」などを利用して、ログをさまざまな角度から検証できます。



ジョブログ一覧画面



ユーザー別カウンターログ一覧



アクセスログ一覧

■ 蓄積したログをCSV形式でエクスポート可能

蓄積したログをCSV形式で出力することで、バックアップや他のシステムでログを利用することが可能。エクスポートには2つの方法があります。

- **ログのエクスポート**：ログの一覧表示画面から、表示されているログ情報をCSVファイルにエクスポート可能です。ログの内容はフィルターや検索などで予め表示しておく必要があります。
- **専用ツールによるエクスポート**：専用ツールにより、期間指定もしくは定期的なログのエクスポートができます。

使用枚数による部門振替

- 『複合機やカラー機を共有で使って欲しいが、経費の振り分けができない』
- 『分社化/事業部制で、同じフロアでも経費の振り替えが必要になった』



ユーザー別カウンターログ収集で、課金請求に近い*出力枚数を算出できる

- 部門別に白黒、単色、2色カラー、フルカラーで集計可能。
- 単価設定により、費用の算出も可能。



* 課金トータルカウンターと一致しない場合があります。詳しくは3ページをご覧ください。

多彩な切り口での集計・分析により、出力機器の利用状況を把握できます。

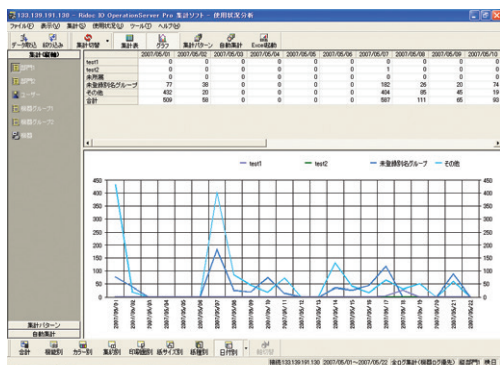
■ 集計ソフトで高度なログ分析が可能

「Ridoc IO OperationServer Pro 集計ソフト」により、収集したログの情報を元に、印刷に関わる状況をあらゆる視点で集計・分析できます。

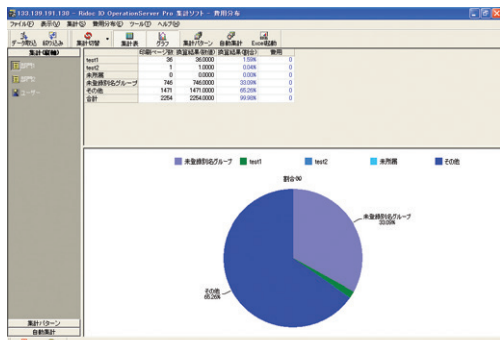
【集計・分析の方法は3種類】

- **使用状況**：部門別、ユーザー別などで印刷ページ数を集計し、目的に合った集計表を作成できます。
- **費用分布**：換算レートを設定することにより、ユーザーグループまたはユーザー単位で費用分布を確認できます。
- **状況分布**：両面印刷や集約印刷により削減できた用紙の割合（枚数削減率）を確認できます。

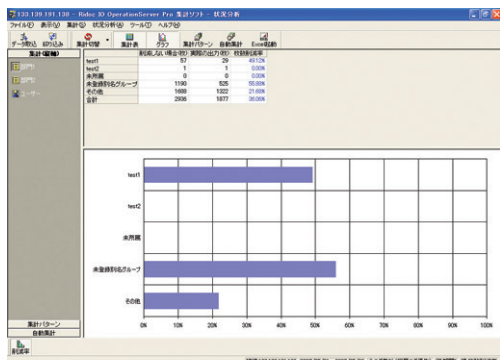
【集計ソフトのメイン画面】



使用状況



費用分布



状況分析

■ 集計結果はさまざまな用途で活用可能

「Ridoc IO OperationServer Pro 集計ソフト」で作成した集計表は、グラフ表示、CSVファイルへのエクスポート、保存/読み込み、表またはグラフ形式での簡易印刷ができます。

集計結果の活用例



※ グラフボタンを押すと、現在表示している集計に応じたグラフを表示します。

※ 「Excel® 起動」ボタンを押すと、現在表示している集計に応じてExcel® に書き出します。報告書作成や独自の集計を行いたい場合は、Excel® 書き出しの機能は便利です。

■ よく使う集計パターンの登録

集計結果の各種設定内容を集計パターンとして登録*し、必要に応じて集計パターンを利用して集計できます。

* 集計パターンを登録できるユーザー数は最大50人。ユーザーごとに登録できる集計パターン数は20個。

■ 自動集計

登録している集計パターン（または表示されている集計パターン）と集計の締め切り日を指定して、自動集計スケジュールとして登録できます*。集計結果は、設定されている保管期間を過ぎると自動的に削除されます。

* スケジュールを登録できるユーザー数は最大50人。ユーザーごとに登録できるスケジュール数は20個。

TCO 削減のための上限管理

- 『カラー機を導入したいが、無秩序な使用は困る』
- 『利用できる経費の上限をユーザーごとに割り振りたい』



ユーザーごとにカウンター制限(上限管理)ができる

- 紙出力が上限を超えたユーザーについて、機器の利用(印刷とコピー)を制限可能。



ユーザーごとに印刷/コピーの上限枚数設定をし、機器の利用制限ができます。

TCO 削減が効率的に行なえるカウンター制限(上限管理)

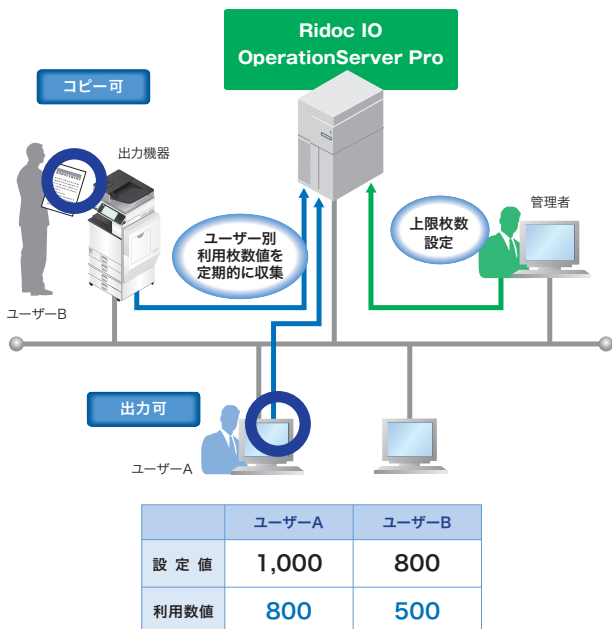
特定のグループに属する全ての出力機器から、ユーザー別カウンターを定期的に収集し、出力枚数が上限を超えたユーザーについて、出力機器の利用を制限できます。この機能により、TCO 削減を効率的に行なうことができます。

【制限できる主な内容】

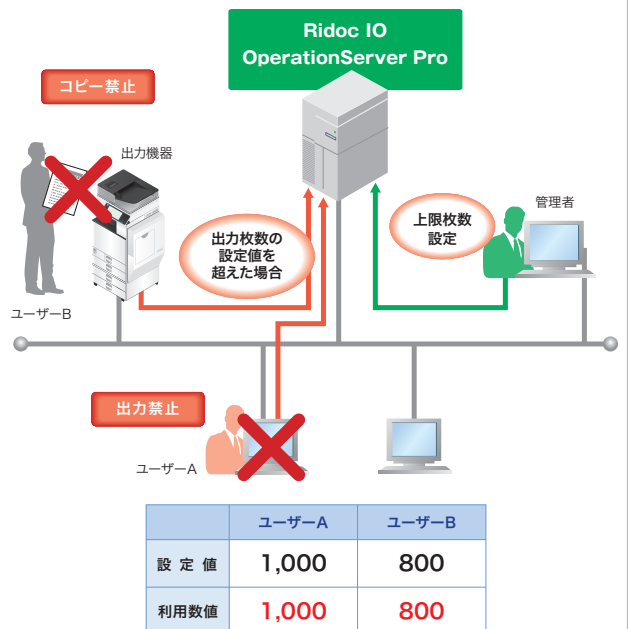
- **カウンター上限の初期値設定**：1～1,000,000の間で設定。
- **度数設定**：カウンター上限超過を判断するための、1ページの印刷により加算する値を設定。例えば、白黒「1」、単色「2」、2色「2」、フルカラー「4」などの度数が設定可能。
※「リコーキーカードMK1」「リコー MK1用LAN接続キット タイプB」および「リコー 集計管理ICカード タイプR1」が設置されている機器にはカウンター制限を設定できません。
 ※カウンター制限(上限管理)できる機器は200台まで。
 ※ユーザー別カウンターを定期的に収集し、上限を超えたか判断しているため、機器の利用中に上限を超えた場合は制御できません。

【 機器利用制限の概念図 】

■ 機器利用が可能な場合



■ 機器利用が禁止の場合



セキュリティ対策

- 『機器の不正利用や紙文書の情報漏えいが心配』
- 『機器の操作履歴を管理しておきたい』



機器本体の認証機能を利用し、機器ログ (ジョブログ、アクセスログ)が収集できる

- 機器本体の認証機能を利用して、いつ、誰が、何を印刷したかをログとして収集可能。 ※リコー 個人認証システム AE2の利用も可能。



出力機器管理

- 『今どんな機器がネットワーク上にあるか、把握するのは大変』
- 『複数の機器導入時、1台ずつ設定するのは手間がかかる』



マルチベンダーの出力機器を一元管理できる

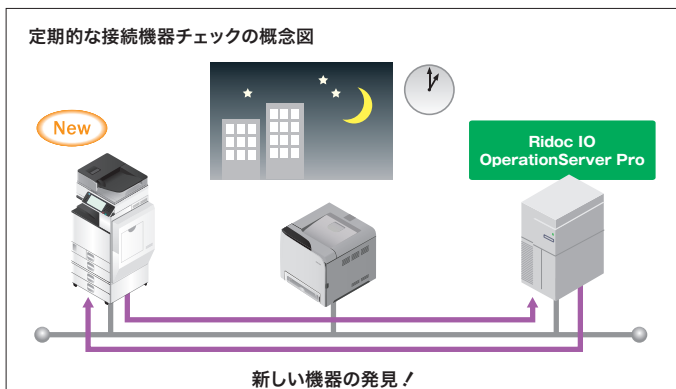
- あらかじめ設定した時間、検索範囲などで、定期的にネットワーク上の機器を把握できます。
- 複数の機器に対して、同じ設定を一括処理できます。



複数の出力機器の登録、一元管理、一括設定が Web 環境で容易に行えます。

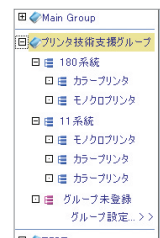
定期的なネットワーク上の機器の把握が可能

ネットワークにどのような出力機器が接続されているかを、あらかじめ設定した時間、検索範囲(ローカルネットワークおよびサブネット)などで、チェックすることが可能。ネットワークに新しく追加された機器の登録も容易に行なえます。管理業務の負荷を増やすことなく、機器の一元管理のベースとなる情報が収集できます。



機器をグループごとに区分けして、管理の効率を向上

ネットワーク上の機器を、設置場所や部門別などに区分けしてグループ(3グループ、5階層まで)を作成。ツリー構造の表示により、必要に応じて容易にグループごとの機器情報を確認することができ、効率的な管理が行なえます。



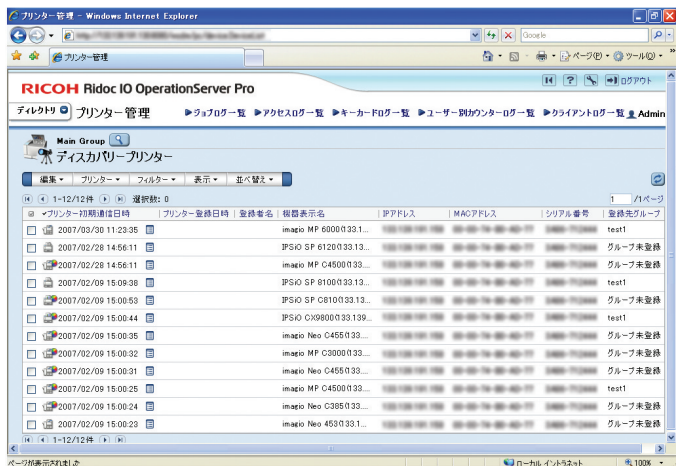
ツリー構造の機器情報表示

●グループ化の例

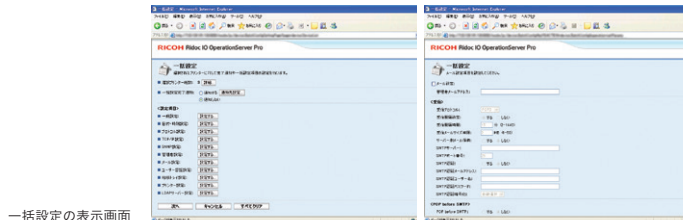
設置場所別	フロア、建物、地域(支店・営業所)など
部門別	営業、技術、マーケティング、総務など
機器の機能別	レーザープリンター、複合機など
機器の種類別	カラー機、モノクロ機、速度など

複数の機器の一括設定*をサポート

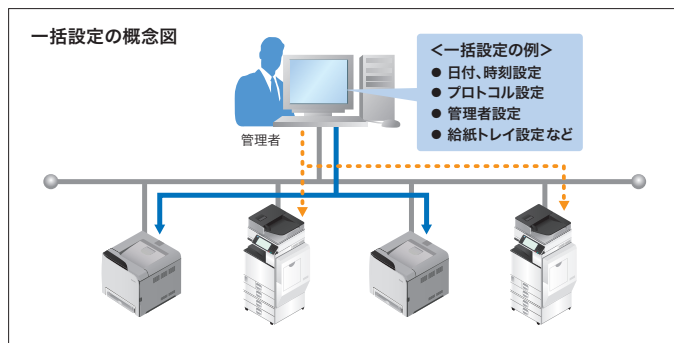
プリンター管理画面で、複数の機器を選択し、同じ設定を一括で行なうことができます。これにより、機器1台ずつを設定する手間を省くことができます。また、一括設定の実行結果は、E-mail通知で受け取ることができます。 ※対象機器の詳細は、リコーホームページをご覧ください。



新たに発見された機器の一覧画面



一括設定の表示画面



■ 出力機器の詳細情報が閲覧可能

プリンター管理画面から詳細を確認したい機器を選択し、印刷速度、カラー/モノクロ、システムバージョン、プリンター言語など、詳細情報が確認できます。

※機種により表示が異なります。



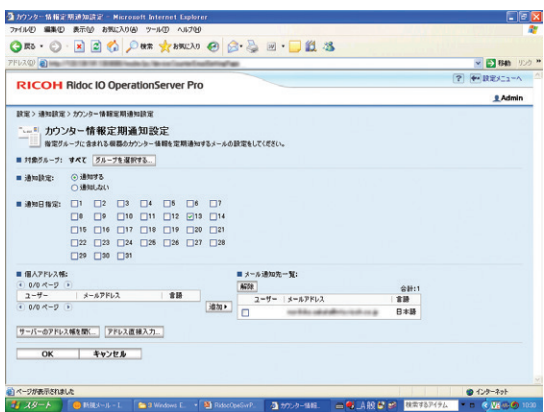
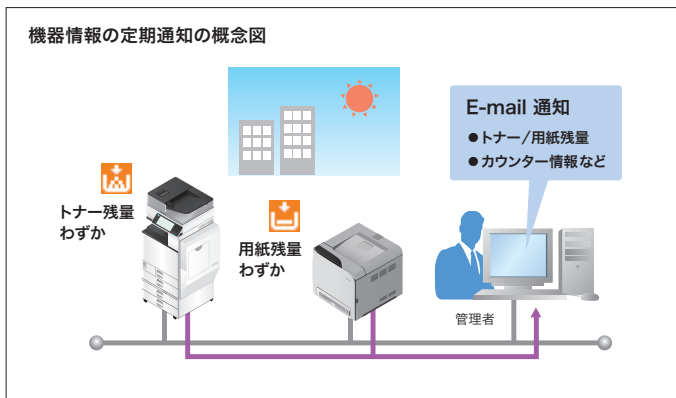
機器の詳細情報表示画面

■ マルチベンダー対応で、出力機器の管理が可能

リコーのプリンターと複合機以外にも、ネットワーク上にある既存の機器(標準 MIB 対応機)の一元管理が可能。機種ごとに、異なる管理画面を開く必要がありません。

■ トナーやカウンター情報などを、定期的に E-mail 通知

あらかじめ設定したスケジュールによる、定期的なステータスポーリングを実行。機器のトナーや用紙の算用通知、カウンター情報定期通知が可能。たとえば、「トナー残量がわずか」で E-mail 通知を受け、前もって担当者にトナー発注をすることができます。細部にわたり先を見越した管理が可能です。



カウンター情報定期通知の設定画面

■ エラー発生機器の絞り込み、詳細表示が可能

エラーが発生した場合、Web ブラウザーに表示した機器の一覧表から該当の機器の絞り込みが速やかに行なえます。検索条件を指定して機器を検索したり、グループ選択やフィルターによる機器の絞り込みも行なえます。



エラー発生機器の一覧表示

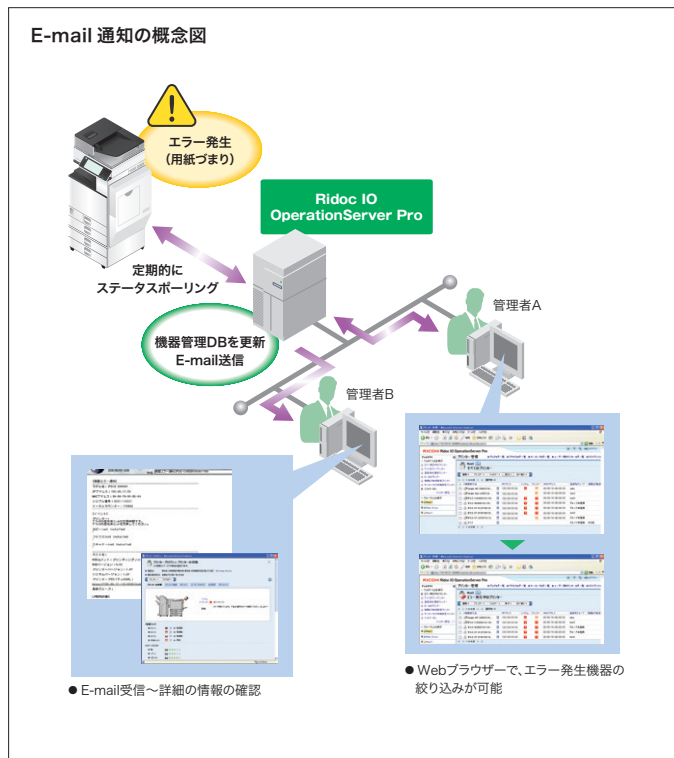
■ エラー発生時に、管理者へ E-mail 通知

一元管理している機器が、通知対象(表参照)に指定した状態になった場合、あらかじめ登録しているあて先へ E-mail で自動通知。従来のように、管理画面を頻繁に開いて、機器の稼働状況を確認する手間が軽減できます。また、部門・部署、設置場所などのグループ単位に機器状態を選択し、通知先の設定が可能です。

● エラー通知項目の例

機器状態	リコー製複合機・プリンター*	他社プリンター
サービスコール	○	—
トナー/インクなし	○	○
用紙つまり	○	○
用紙なし	○	○
カバーオープン	○	○
その他エラー	○	○
オフライン	○	○
トナー/インク残りわずか	○	○
注意	○	○

* 対象機器については、営業担当までご確認ください。



● E-mail 受信～詳細の情報の確認

● Web ブラウザーで、エラー発生機器の絞り込みが可能

【 Ricoh IO OperationServer Pro 動作環境 】

種類	サーバー	クライアントパソコン*	Packager 作成パソコン	クライアントログ収集ソフト	集計ソフト
CPU	Intel® Pentium® 互換1GHz 以上 (Intel® Pentium®4 2.8GHz 相当以上を推奨)	Intel® Pentium® 互換500MHz 以上		Intel® Pentium® 互換133MHz 以上	Intel® Pentium® 互換1GHz 以上
メモリー*	1GB以上	128MB以上			1GB以上推奨
HDD**	インストールに必要な空き容量:800MB以上	オペレーティングシステムの推奨に準拠		オペレーティングシステムの推奨に準拠	インストールに必要な空き容量:200MB以上
OS**	Windows Server™ 2016 Standard/ Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ)、 Windows Server™ 2019 Standard/ Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ)、 Windows Server™ 2022 Standard/ Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ)	Windows® 10 Education/Enterprise/ Professional/ Home Edition 以降のSP含む、 Windows Server™ 2016 Standard/Datacenter 以降のSP含む、Windows Server™ 2019 Standard/Datacenter 以降のSP含む (WoW64環 境のみ)、Windows Server™ 2022 Standard/ Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ)		Windows® 10 Education/Enterprise/ Professional/Home Edition 以降のSP含む、 Windows Server™ 2016 Standard/Datacenter 以降のSP含む、Windows Server™ 2019 Standard/Datacenter 以降のSP含む (WoW64 環境のみ)、Windows Server™ 2022 Standard/ Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ) ※x64では、スプーラログを収集	Windows® 10 Education/Enterprise/Professional/ Home Edition 以降のSP含む(WoW64環境のみ)、 Windows Server™ 2016 Standard/Datacenter 以降の SP含む(WoW64環境のみ)、Windows Server™ 2019 Standard/Datacenter 以降のSP含む(WoW64環境のみ)、 Windows Server™ 2022 Standard/Datacenter 以降の SP含む(WoW64環境のみ)
データベース*	Microsoft® SQL Server™ 2014 Express/ Standard/Business Intelligence/Enterprise Edition SP2/SP3 Microsoft® SQL Server™ 2016 Express/ Standard/Enterprise Edition 以降のSP含む Microsoft® SQL Server™ 2017 Express/ Standard/Enterprise Edition 以降のSP含む Microsoft® SQL Server™ 2019 Express/ Standard/Enterprise Edition 以降のSP含む ※Microsoft® SQL Server™ 2012/2014/2016/ 2019はRidoc IO OperationServer Proのインス トラーに含まれていません。	—	—	—	Microsoft® SQL Server™ 2014 Express/Standard/ Business Intelligence/Enterprise Edition SP2/SP3 Microsoft® SQL Server™ 2016 Express/Standard/ Enterprise Edition 以降のSP含む Microsoft® SQL Server™ 2017 Express/Standard/ Enterprise Edition 以降のSP含む Microsoft® SQL Server™ 2019 Express/Standard/ Enterprise Edition 以降のSP含む ※Microsoft® SQL Server™ 2012/2014/2016/2019は Ridoc IO OperationServerProのインストーラーに含まれて いません。
ブラウザ	JavaScriptをONに設定した次に示すブラウザ	Microsoft Edge v96、Google Chrome v96	—	—	—
ネットワーク	TCP/IP がインストールされ、正しく設定されていることが必要 ¹⁵				
画面解像度	—	1024×768以上を推奨	—	—	1024×768 以上を推奨

* 1 Ridoc IO OperationServerProが使用するメモリー容量です。OSおよび、他のアプリケーションが使用するメモリー容量は含まれておりませんので、必要に応じて追加してください。 * 2 レポート作成や機器情報収集・保管運用に合わせて、別途HDD容量を追加してください。
* 3 Windows® 10については、32bitおよび64bit日本語版に対応します(64bitの場合は32bit 互換モード(WoW64)での動作となります)。また、Windows Server™ 2016/2019/2022は64bit日本語版に対応します(32bit 互換モード(WoW64)での動作となります)。
* 4 対応SQLはすべて日本語版になります。Express Edition で管理できるデータの容量は、9GBまでです。 * 5 固定IPアドレスで運用してください。 * 6 Ricoh IO OperationServerProにログインし、操作する場合の動作環境。

※動作環境のさらに詳しい内容につきましては、販売担当者にご確認ください。

【 価格表 】



出力機器(マルチベンダー)管理を基盤としたトータルログ管理サーバー
Ridoc IO OperationServer Pro
リドック アイオー オペレーションサーバー プロ

標準価格 **198,000 円** (消費税別)
＜品種コード:302514＞ ※ 10 デバイスライセンス付

Ridoc IO OperationServer Pro

Ridoc IO OperationServer Pro 10DL	＜品種コード:302516＞	101,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro 30DL	＜品種コード:302517＞	303,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro 50DL	＜品種コード:302518＞	468,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro 100DL	＜品種コード:302519＞	900,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro 300DL	＜品種コード:302520＞	2,160,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro 500DL	＜品種コード:302521＞	2,700,000円 (消費税別)

Ridoc IO OperationServer Pro アップグレード
標準価格 **79,000円** (消費税別) ＜品種コード:302515＞
※「Ridoc IO OperationServer 導入支援パッケージ」および「Ridoc IO Account V3 / Pro」からのアップグレード商品となります。
※ 10 デバイスライセンス付

Ridoc IO OperationServer Pro アップグレード 10DL	＜品種コード:302522＞	41,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro アップグレード 30DL	＜品種コード:302523＞	122,000円 (消費税別)
Ridoc IO OperationServer Pro アップグレード 50DL	＜品種コード:302524＞	188,000円 (消費税別)

※アップグレード10DLは、「Ridoc IO Account V3 / Pro」の100クライアントライセンス分をデバイスライセンス10台分として充当します。
アップグレード30DL / 50DLもそれぞれ、300 / 500クライアントライセンス分をデバイスライセンス30 / 50台分として充当します。

※対応機種については、RICOH ホームページをご確認ください。

●このカタログの画面と実際の画面の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●製品の仕様および機能は、改良のため予告なく変更させていただく場合があります。●詳しい機能・仕様・制約条件等および価格・納期・保守サービスについては、販売担当者にご確認ください。
■上記の詳しい内容につきましては、販売担当者にご確認ください。弊社は、お客様に生じた直接または間接的損害および第三者からお客様に対してなされる不法行為、債務不履行、契約責任、不当利得を請求原因とする損害に対して責任を負いかねますのでご了承ください。この印刷物に掲載の全商品の価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は消費税を別途申し受けますので、ご了承ください。

※Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Internet Explorer および Active Directoryは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ※IntelおよびPentiumは、アメリカ合衆国およびまたはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。 ※JavaScriptは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。 ※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。



株式会社リコー
東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555


https://www.ricoh.co.jp/IPSiO/related_goods/operationsvr/

複合機プリンター対応 IC カード 認証システム
リコー 個人認証システム AE2

ICカードにより、複合機またはプリンター本体の認証機能と連携して、個人ごとの利用制限や出力機器に対して容易に利用者のIDを渡すことができ、きめ細かなログ収集を実現します。

■複合機の場合

複合機本体に利用者IDに紐付いたログを保持できる。



ICカードをかざすことで、利用者IDを複合機へ容易に渡すことができる。

■プリンターの場合

プリンター本体に利用者IDに紐付いたログを保持できる。



ICカードをかざすことで、利用者IDをプリンターへ容易に渡すことができる。

詳しくは、「リコー 個人認証システム AE2」のカタログおよび HP をご参照ください。

<https://www.ricoh.co.jp/imagio/mfp-sol/ic-card-ae2/>

●お問い合わせ・ご用命・・・